

未来を創る技術者育成に向けて

校長 鈴木 哲

本校は県内工業高校の中核として、これまで多くの有為な人材を輩出してきました。現在、AIによる技術革新や国際情勢の変動など、社会は加速度的に変化しています。

予測困難な社会の中、たくましく活躍していくために、ものづくりの基盤となる学力、多様な他者と協働する力、柔軟な考え方でチャレンジする力を身に付け、そして、どんな状況においても明るい未来を信じ、熱い思いを持って努力を重ねる人材の育成に努めてまいります。

令和7年度 学校経営・運営ビジョン



福島県立 郡山北工業高等学校

= 校 訓 =

調 和 創 造 特 色

= 教 育 目 標 =

- 1 調和のとれた人間の育成に努める
- 2 創造力のある豊かな人間の育成に努める
- 3 特色のある人間の育成に努める

資質・能力の育成

1 確かな学力の定着

- 個別最適化された学びを展開し、必要な学力の定着を図ります。
- 主体的、対話的な学びをととして、思考力や探究心などの育成を図ります。

2 授業等の充実

- 教材研究や指導方法を研究し、授業力の向上と充実に努めます。
- ICTを活用した授業を展開し、個に応じた学びや協働的な学びを実践します。

3 専門教育の充実

- 「ものづくり」をととして、自ら積極的に技術・技能の習得を目指す生徒の育成に努めます。
- 学校と企業との連携を推進し、質の高い工業教育に取り組みます。
- 資格取得マップの作成や計画的な課外授業により、資格取得を奨励します。
- 安全教育に関するマニュアルを整備し、事故の絶無に努めます。

進路実現

1 キャリア教育の充実

- 学年に応じたキャリア教育を進め、自らキャリアアップできる資質を養います。
- インターンシップや企業見学をととして、職業理解を促進する。
- 資格取得をととして、自らのスキルアップを図る姿勢を育成します。

2 進路指導の実践

- 計画的に進路希望調査等を実施し、個別面談をととして、進路決定に繋がります。
- 一人一人の希望先に寄り添った指導で、進路希望の実現を図ります。また、大学進学を希望する生徒に対しても、合格に向け個別に支援します。

3 企業訪問・事後指導の充実

- 多様化する進路希望に対応するため、積極的な企業訪問を行います。
- 卒業生のフォローアップに努め、職場への定着を図ります。

人間性・社会性の育成

1 健やかな体と豊かな心の育成

- 家庭や地域社会と協力し、規範意識、公共の精神、思いやりの心を醸成します。
- 部活動の充実により、心身を鍛え、人間性・社会性を養います。
- 生涯にわたり、健康の保持増進ができるように健康マネジメント能力の育成を図ります。

2 生徒指導の充実

- 「欠席、遅刻、早退をなくす」等、基本的な生活習慣の確立に努めます。
- 本校独自の自転車運転免許制度により、交通安全指導の充実・徹底を図り、自転車による交通事故の未然防止に努めます。

3 教育相談の充実

- 生徒と向き合う時間を確保し、きめ細かな個別面談をととして生徒理解を深め、問題行動等の未然防止に努めます。
- 関係機関との連携を密にして、多様化する課題に対応できる教育相談体制を構築します。

学校と地域の連携

1 地域との連携

- 高・大連携事業等を活用し、専門教育のさらなる深化を図ります。
- 地域の技術力を活かした、「ものづくり教育」を積極的に展開します。
- 地域をフィールドとした学びを推進し、地域における多様な活動機会の充実に努めます。

2 地域への情報発信

- Webによる情報発信を充実させ、学校活動を保護者や地域に広報します。

3 生徒会活動の推進・活性化

- 生徒会活動を推進し、自主自立の精神を育みます。
- PTA、生徒会部活動後援会、北工後援会や同窓会と協力し、部活動、委員会活動等の活性化を図ります。
- 教育環境の維持・充実に努め、学校美化等に率先して取り組む生徒を育てます。